

◆授業のポイント◆

- ・ 学習意欲を高めるための教材・教具の工夫
- ・ 日常化・生活化を目指した授業の工夫

保健体育科学習指導案

学 級 2年1組 (男子22名 女子18名 計40名)
 場 所 2年1組教室 (2年校舎2階)
 授業者 教 諭 山 野 修

- 1 単元 傷害の防止 (全8時間)
 2 題材 「交通事故の防止」
 3 本時の実際 (3/8)

(1) 目標

- ① 交通事故を防ぐためには、自分の心身の状態、道路の状況、車両の特性などをつかみ、危険を予知することが大切であることを理解できる。(思考・判断・知識・理解)
 ② 交通事故を防ぐためには、交通環境を安全に整える必要があることを理解できる。(知識・理解)

(2) 展開

過程	主な学習活動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	1 交通安全教室での学習を振り返る。 (1) DVD視聴 ・ 事故の起こる可能性を考える。 (2) (1)の根拠についても考え、発表する。 2 本時のねらい・学習の流れを確認する。 危険を予知する能力を身に付けよう。	13分 個人 一斉	※ 交通安全教室で利用した視聴覚教材 (DVD) を注意深く視聴させる。 ○ 事故が起こる可能性について個々で考え、危険を予測することへの関心をもたせる。 ○ 本時の学習のねらいや流れを理解させ、学習の見通しをもたせる。
展 開	3 危険を予知する能力を身につけるためのトレーニングを行う。 <グループ活動> ※ 司会や記録者を決め、次の4場面での危険や対策を考えさせる。 ① 自転車走行中、歩道で遊んでいる子どもの横を通過するとき ② 自転車走行中、停車中の車の横を通過するとき ③ 自転車走行中、見通しの悪い交差点を通過するとき ④ 交差点をトラックが左折しようとしているところで、自転車を停車しているとき 4 安全な交通環境づくり ・ 身近な交通環境における安全対策を提示し、理解を深める。	30分 グループ 一斉	○ グループ活動を通して、生徒一人一人が危険に対する気付きを確実なものにしていけるようにする。 ◎ 配布資料を活用し、意見交換しながら学習して課題解決を図る。(思考・判断・知識・理解) ※ 電子黒板を利用して、配布資料のチェックポイントを全体で確認し、把握させる。(知識・理解) ○ 机間巡視を行い、分かったことや考えたことをグループ全体で確認し、まとめられるように指導する。 ○ 話し合い活動により他者の意見をしっかり聞き入れ、自分の考えを広げていく態度を育てる。 ○ 各グループで司会進行・記録の役割分担をし、互いに探究心を持ち、話し合い活動を運営していく資質を身に付けさせる。 ※ 提示された資料を注意深く見て、日々の生活における交通安全に対する意識をもたせる。
終 末	5 教師の体験談を話す。 6 授業の感想をワークシートに記入する。 7 次時の学習内容を確認する。	7分 個人 一斉	◎ 学習を振り返らせ、授業の感想や事故防止に努めるためにどのようにしていきたいかワークシートに記入させる。(思考・判断) ○ 次の時間の見通しをもたせる。